

## 1、目標（上半期参照）

## 2、評価

### <運営面>

- ・労務士等の懇談をもちながら、分からないことを学んできた。
- ・意識的に副主任に事務的な事などこまめに伝え合ってきたが、4 期に入り、忙しさから連携を取らなくなってしまったことが反省である。2, 3 月は職員も減った事や行事の取り組みなどで相談し、意見をもらいながら進めてきた。副主任をやらせてもらい、どこまで責任を持ってやれているか不安はあるが、前向きに捉えてやるようにしてきた。

### <職員の連携>

- ・職員の姿に関して見切れなかった、理解してあげられなかった職員がいて反省しきれない。
- ・3, 4 才合同のクラスになり、同じ空間で保育している中で、子どもの成長や気になる姿等、保育者間でたくさん話し合うことができ、とても学ぶものが大きかった。大切にしていきたい関わりなど話したことをメモすると、より自分のものになると思う。
- ・伝え合い、連携の部分では一年通して課題であり、正直なところ反省が多かった。受け手の事を考えた、伝え方を今後は意識したい。

### <保育>

- ・子どもと響き合いつつ、少し距離を取り、見守ることを増やし、すると子ども同士のつながりも良く見えてきた。
- ・子どもと一緒に目標に向かって取り組み、大人の思いが先行してしまうこともあったが、子どもと相談して取り組むことで、子どもの意欲にもつながると感じた。
- ・子どもの気持ちを受け止めすぎてしまいすっきりしない関わり方も意識はしてきた。自分の中で“ここは受け止めるところ”“ここは見守るところ”の判断がまだ難しい。子ども同士のトラブルの中で子どもはそこまでこだわっていないものの、自分がこだわってしまい解決できないこともあった。
- ・発達にあった関わり方が難しく、子どもとの距離の取り方で悩むこともあった。
- ・保育は子どものアイデアや話し合いながら決めていき、自分たちで作り上げる中で自分自身の反省点も見えてきた。環境構成、素材なども考えていけるとよかった。
- ・子どものつぶやきを伝え合うことが積み重なっていく中で、子ども理解、大人理解が広がっていき、うれしい時間が持てた。
- ・現在の子どもの姿とそれに見合った関わりは何なのか、その都度調べるようにした。もちろん文献通りにはいかないのが子育て（保育）なので、個々に合わせて工夫が必要だということを改めて感じる。繰り返しの丁寧な関わりでぐっと成長すると実感できた。
- ・子どもとの関わり、いやいやの場面で、保育者がどう受け止めて切り返していくかということが多く、その度に、文献を広げてみたり、クラス担任間でどうしていけばよいのか話がたくさんできたのは良かった。

### <保護者との関係づくり>

・子どもの成長を親にも伝える中で、それを喜び合ったり、その反面すれ違う部分もあった。子どもを真ん中におきながら、支え合っていきたい。

### <環境設定>

・園庭や保育室の遊具の片づける箱に写真がついて物の置き場がわかり、片付けやすくなった。  
・下半期は心身のバランスが崩れてしまうこともあった。オンとオフをしっかりと持ちながら、ゆとりを持つという心がけは大切にしていこうと思う。

### <記録>

・提出物は意識していたので、何とか期日には間に合ったが、週案はいつもギリギリ、翌週になってしまい反省している。文章の要点をまとめるのは以前より進歩したと思う。  
・新しい仕組みに慣れる前に、ケガをしてしまいさらに休むことになってしまった。そのため、新しい書式や児童要録に関わりきれなかった。

### <健康>

・園児一人一人機嫌や顔色、鼻水・咳の有無・体が熱く（冷たく）ないか確認し、気になる子には体温を測るなど健康チェックを行った。感染症が流行しやすい時期のため、症状の有無に注意した。担任への報告、保護者へ連絡してもらい、早めの受診、十分な休息を呼び掛けた。  
・クラスの子どもたちの月齢や一人一人の発達を見ながら、その時期の育ちやそれぞれに合った目標や保育を心がけてきた。

## 3、自分の任務に対して

・最後の最後に園長としての力不足を大きく感じ、反省しきれない思いでいっぱいである。  
・要領が悪く、日々の事務仕事に追われることが多く、ゆとりをもってクラスの保育に目を向けることが弱かったと大きな反省。  
・中堅職員が増えてきている中では、支え合いながらも言い過ぎず、やり過ぎず、でも困った時には支えられる関係が少しずつ作られてきていると思います。全体で気に掛けるところは弱さがある。

### <クラス>

・自分のできることは精一杯やってきたが、余裕がなくなると自分を責め、相手を責めたくなることもあった。  
・わからないことも多いが、分からないことを自分から聞かないことが多かった（行事や日々の保育の中で）。  
・日誌や児童表、次の週の話し合いもその週で終えることを心がけてきた。  
・クラス担任として相談し合い力を合わせてやってこれた。特に4期は1名担任がいない中頑張った。自分の任務だけやっていたらそれでいいという意識ではなく一人一人が力を出し合ってきた。  
・インフルエンザ以外、大きく体調を崩すことなく過ごせたのは良かった。自分の事や子の急病などもあり、休んでばかりになってしまった。  
・月齢が低い子への関わりで、安心して園生活が送れるように土台を作る等し、一人ひとりの気持ち、不安なども受け止めながら、保育ができたと思う。みんな元気いっぱい園庭で遊ぶ姿が見られ、大きく成長したと思います。  
・クラス間でしっかり話をしながら、目の前の子どもたちの事を考えながら保育をしてきた。しかし、本来の中堅であり生食であるというところでは、任務を果たし切れていないと思う。

・子どもの成功・発達に応じた関わりを学び、個々の課題を他の担任と共有し分からない事は聞くように努めた。感染症流行の状況を把握し、他の看護師と連携を取りながら感染症のお知らせ・保健だよりを発行し、注意喚起することができた。

・クラス担任間でのコミュニケーションが足りず、クラスの雰囲気さがしくしゃくしてしまった。子どもたちにそれを感じさせてしまった点は、反省である。コミュニケーションの大切さを痛感し、これからも課題である。

・苦手意識のあったお昼寝のお話は、いい本に出合って読んだら子どもたちがよく聞いてくれ、前向きに対応できるようになった。

・自分なりに一つひとつ丁寧な仕事をしてきましたが、時には、時間に間に合わないような時もあり、丁寧はもちろん時間も考慮して仕事をしなければと思いました。

#### 4、今後の課題・目標

##### <保育>

- ・保育を楽しく、でも発達の味方、考え方も伝え、一緒に保育を作っていけるようにしていきたい。
- ・子どもに合った活動を、どのような力をつけたいかを考え、やり応え、手応えのある保育を計画する。
- ・子ども声を拾う。受け止めて切り返せるようになる。
- ・子どものアイデアやほかの先生のアドバイスを受け止めて保育していきたい。

##### <連携>

- ・正規職員の欠員、土曜勤務者、6月から延長保育者が減る中、勤務も厳しくなる。職員の入れ替えもあり、より一層の職員間の連携を図っていく必要を感じている。
- ・異動職員や新任職員がいるところでは、クラス間や全体で声を出し合い、助け合いながらより良い職員集団としてよい保育ができるようにしていきたい。
- ・職員同士の繋がりを大切に、保育を語り合っていきたい。
- ・保育者同士の連携をしっかりとりながら子どもたち、クラスの雰囲気も良く楽しい保育ができればいいと思います。
- ・新しい職場、子どもたち、保護者、保育者に慣れ信頼関係をしっかり作りながら、子どもたちのために連携がとれる雰囲気づくりを目指していきたい。笑顔を忘れず、看護師としてより多くの知識・技術を学んでいきたい。
- ・自分の思いを伝えること、相手の思いを聞くこと、コミュニケーションの大切にしていきたい苦手な部分でもあるので)。また、発達を理解し、深めていきたい。
- ・ぶつかり合いの場面になると、大きい声を出して勘定が高ぶってしまうことがある。一呼吸おいて、考えて対応していきたい。

##### <その他>

- ・働き続けやすい職場、勤務内でやりきれぬ仕事量も引き続き実践していきます。
- ・つくし保育園で働かせていただいていることに感謝して、自分の任務をしっかりと果たしたいと思いません。
- ・建設に向けて、今まで以上の努力と職員間の一致団結していく。

## 5、その他

- ・なぜ感じられなかったか、分からなかったのか…悔やみきれない思っている。
- ・職員みんなで頑張ってきた。みんなに感謝。でも、何となく心が苦しい毎日。前を向いて頑張るが何かつかえるものがある。
- ・上半期同様、心身ともに健康でいられるようにしたい。仕事でもプライベートでもうまく息抜きできるようになりたい。
- ・保育間の連携で相手にどう伝えれば、うまく思いが伝わるのか悩み、葛藤することが度々あった。“良い保育”を目指して大切にしたいことや思っていることは、ちゃんと伝えられるようにしていきたい。
- ・建設で職員ができることを明確にしていきたい。
- ・子どもたちが成長していく姿をみることでできて本当にうれしく思う。
- ・コミュニケーションをどうとっていくか。
- ・年間通して、素晴らしい保育活動をしていると思います。保育する子どもの人数が減ると、保育者の人数が減らされてしまいます。その日その日で子どもの様子も違うので、ゆったり保育ができるように保育者の人数を固定できたらなと思います。
- ・育休で休んでいる職員がいる中でみんなよく頑張っていると感じます。園長・主任先生はいろいろ大変だったと思います。ご苦労様です。
- ・休憩時間に、職員が事務所に来ておしゃべりしたり、糖分補給するのいいですね。気分転換・午後の活力になります。
- ・ワークバランスを保つことの難しさと大切さを感じている。